

図工課題6年 「ピカソに挑戦」 課題説明

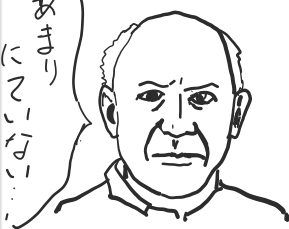
表



使う用具はクレヨンです。
ただぬるだけではなく、いろいろな工夫ができるので、ちよつと紹介します。



今回は、この「泣く女」に色や形を加えて、自分だけの作品にしていきたいと思います。ピカソの作品に挑戦しよう！



ピカソ
美術の歴史の中にピカソという芸術家があります。有名な人なので、聞いたことがある人もいるかもしれませんが。



こんにちは。みなさん、元気に過ごしていますか？
今回はまず、美術（アート）について、少しお話します。



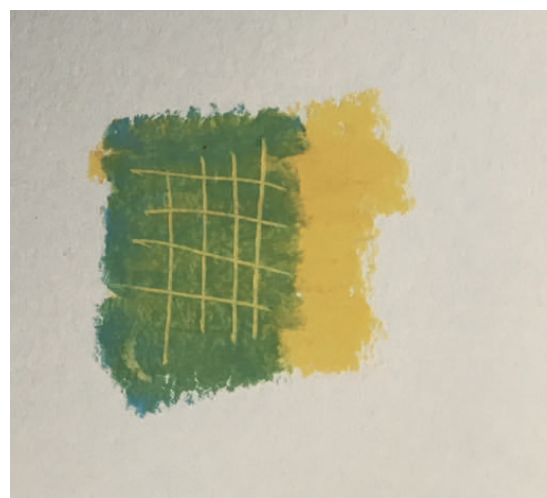
しっかりぬりこむ

色を重ねる

こすってぼかす
(布やティッシュ)

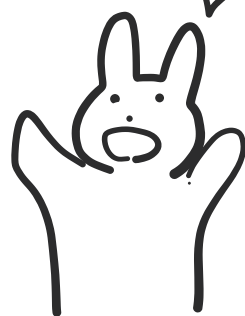


少しずつ重ねて
グラデーションにする



重ねたあと つまようじ
などでひっかく

いろいろ試してみよう。これ以外のやり方も見つかるかも知れないよ！




ピカソには、たくさんさんの代表的な作品がありますが、
・
・
・
その中でも、今回は、「泣く女」という作品を、紹介します。

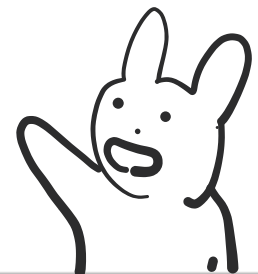
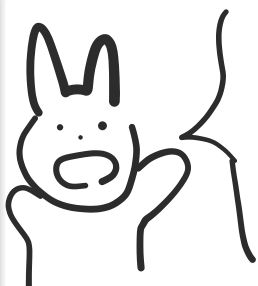


ピカソは、一生をかけていろいろな表現に挑戦して、たくさんさんの作品をつくり、二十世紀最大の芸術家とも呼ばれています。



「泣く女」

これが、ピカソの「泣く女」という作品です。どんな感じがしますか？
実際は、カラーなので、興味のある人は、インターネットなどで調べてみて下さい。

裏側の説明と参考例を確認したら、始めましょう。
みんなの作品を楽しみにしています！



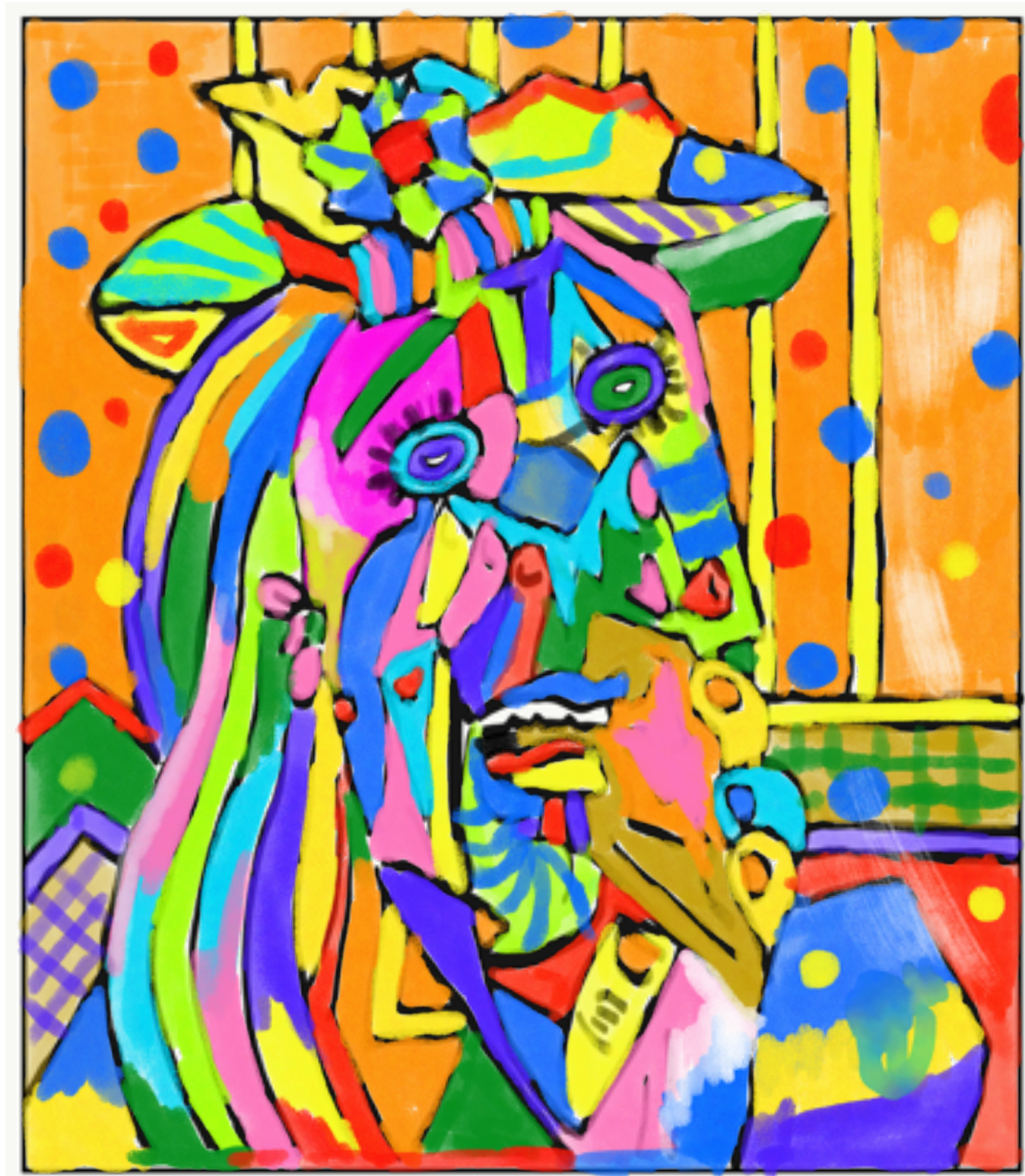
ぬり方の工夫をしながら、自分がいなと感じるように、色や模様、線などを加えていきましょう！

今回の課題：
ワークシートの「泣く女」に色を付けたり、形をかき加えたりして、自分だけの新しい作品にする

材料や用具：
ワークシート、クレヨン、新聞紙、
その他使いたいもの（つまようじ、ティッシュなど）

しめきり：1 週間後（登校の日に担任の先生に提出）

- 注意など：
- ていねいに仕上げること（しっかりぬる）
 - ぬるだけではなく、線や模様を自分で足してもよい
 - 線の通りにぬらない所があってもよい
 - 最後に題名をつけ、自分が工夫したところを書くこと
 - 新聞紙をしいてから取り組むこと！



題 名	水玉模様の泣く女	組 番 名前
表現 の 工夫	カラフルな感じにしたかったので、色を重ねたり、重ねた後にけずったりして、いろんな色を作りました。	
	また、水玉模様やチェックの模様をかき加えて、よりはなやかな感じを出しました。	



題 名		組 番 名前
表現 の 工夫		